

# 「令和6年度の校内研究の概要」について

## 1 令和6年度研究テーマ（社会の変化・教室の多様性・校内研究の課題・コンピテンシー調査より）

<p>社会の変化</p> <p>① Society5.0 社会</p> <p>② 新型コロナウイルスへの脅威</p> <p>③ AI の飛躍的進化</p>	<p>教室の課題</p> <p>「子どもの多様性」</p> <p>① 発達障害・特異な才能の児童の増加</p> <p>② 不登校・不登校傾向の子ども</p> <p>③ 家庭の文化資本の違い（学力・生活力）</p>	<p>R5の成果・課題</p> <p>【児童】</p> <p>○課題設定力94%以上（5・6年）</p> <p>△調べ深める力64%・学力状況調査結果</p>	<p>【教員】</p> <p>○校内研究内容有意義性 99%</p> <p>○授業改善・児童コンピテンシー向上 94%</p> <p>△各学年の授業の検討時間確保・3部会連携</p>
---	--	---	---



## 主題 「実社会で生きて働く力（コンピテンシー）の育成」

### 副題～個別最適な学びと協働的な学びの創造～

研究教科（生活科・総合的な学習の時間を中心とした教科等横断的な学習）

### 研究テーマ設定の理由

子どもたちが活躍する未来社会において必要な資質能力を育成するため、生活・総合的な学習の時間の教科横断的な学習（PBL）を研究し、また教科において児童の多様性に対応する指導の工夫を研究し、児童のコンピテンシーの向上を図る。

### 研究内容

コンピテンシーとは…「知識だけではなく、スキル、さらに態度を含んだ人間の全体的な資質・能力」

